

大学構内の放置自転車をリサイクルし、全国の大学生に無料で貸し出す民間サービス「エコチャリ.com」が、10月1日からスタートする。放置自転車を有効利用し、学生の経済的負担を軽減するとともに、物を大切にすることを高めてもらうという「一石三鳥」の取り組みとなる。

福島県いわき市のバイク買い取り業「バイクオフコーポレーション」（稲本勝美社長）

が協賛企業を募って実施。覚書を交わした東北大、福島大、山形大、茨城大、静岡大、長岡技術科学大の6大学か

大学構内の

放置自転車

無料レンタル

ら無料で回収した放置自転車を修理し、ホームページ上でリストを公開し、貸し出しを受け付ける。配送、回収費用は同社が負担し、貸出期間は卒業時まで。

協賛企業については、ホームページに広告を掲載したり、企業名入りのステッカーをレンタル自転車に張ったりする。

同社は2005年から東北大構内の放置自転車を無料回収し、レンタルして新入生に安価で販売してきたが、再放置されるケースも目立った。レンタルならば「他人の所有物ということ、学生が自転車を大事に扱ってくれることも期待できる」と考えたという。

同社によると、多くの大学で、卒業生が放置していく自転車の処分に頭を悩ませている。年間1000台以上が放置され、撤去費用が数百万円に上る大学もあるという。稲本社長は「回収先の大学を増やしたい。放置自転車の一掃を目指したい」としている。問い合わせは同社（0246・34・5685）へ。ホームページのアドレスは、<http://ecochari.com>



貸し出し用自転車の整備作業（28日、福島県いわき市のバイクオフコーポレーションで）